

柴山外務大臣政務官の米国訪問 (概要)

平成21年5月26日

柴山昌彦外務大臣政務官は、5月3日～6日の日程で、2010年NPT運用検討会議第三回準備委員会への出席ならびに国連関係者及び米国政府関係者等との意見交換のため、ニューヨーク及びワシントンを訪れました。

1. ニューヨーク（4日）

(1) 柴山政務官は、国連本部において[2010年NPT運用検討会議第三回準備委員会](#)に出席し、我が国政府代表として、本年4月に中曽根大臣が発表した「世界的核軍縮のための11の指標」に関する演説（[和文](#)・[英文](#)）を行いました。



(第三回準備委員会での演説)



(潘国連事務総長との挨拶)

(2) また、ミギロ国連副事務総長、デュアルテ国連軍縮部上級代表とそれぞれ会談を行い、国連の軍縮政策及び我が国の核軍縮への取り組みなどについて意見交換を行いました。



(ミギロ副事務総長との会談)



(デュアルテ上級代表との会談)

(3) この他、秋葉広島市長、田上長崎市長をはじめとする「平和市長会議」参加者と会談し、我が国政府の核軍縮に向けた取り組みについて意見交換を行いました。



(「平和市長会議」参加者との会談)

2. ワシントン（5日）

柴山政務官は、5月5日昼から6日朝にかけてワシントンを訪れ、フレミング下院議員、クロブシャー上院議員、パーコビッチ・カーネギー財団副所長、ホフ中東和平担当特使事務所地域特別調整官等と会談し、日米関係、軍縮・不拡散、中東和平、北朝鮮問題等の幅広い議題に対し、有意義な意見交換を行いました。



(クロブシャー上院議員との会談)



(フレミング下院議員との会談)



(パーコビッチ副所長との会談)



(ホフ特別調整官との会談)

(了)